

授業を振り返って②<小学校>

「怒りと上手に付き合おう」

視点 I 本時のねらいを達成できたか(◇印は、展開案やワークシート等の修正に関する内容です。)

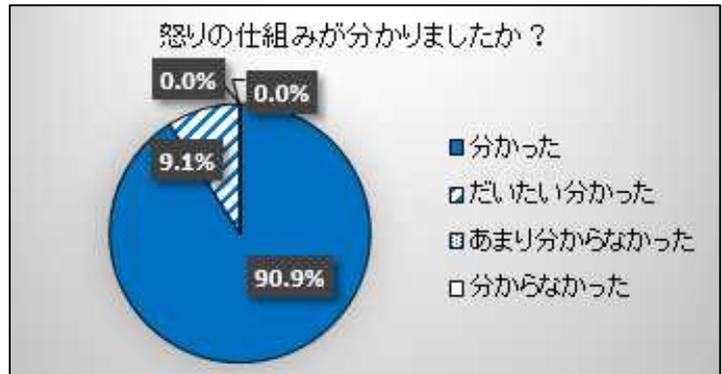
1 怒りの仕組みについて

○ 振り返りシートの「怒りの仕組みが分かりましたか」という質問に対して「分かった」と「だいたい分かった」と回答した児童の合計が100%だったことから、スライドを用いた説明は効果的だったと考えます(資料1)。

○ 怒りの仕組みを説明する場面では、スライドで怒りの大きさを風船を用いて視覚的に表現したことで、児童は熱心にスライドを見て説明を聞いていました。

◇ 怒りの仕組みについて説明する際に、

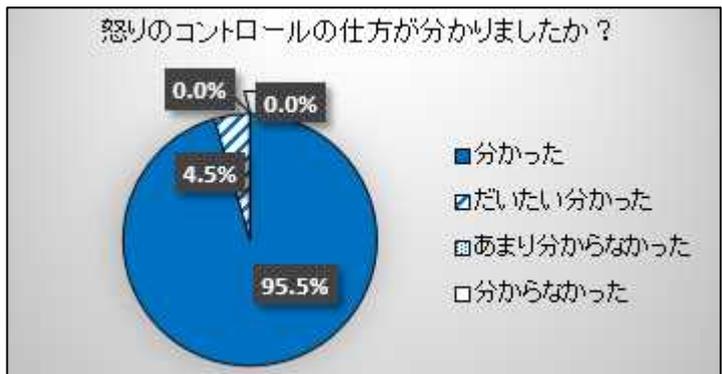
紹介するのは一般的な怒りの仕組みであることを児童に伝えるように展開案を修正しました。



資料1 怒りの仕組みの理解についてのアンケート結果(振り返りシートより)

2 怒りへの対処法について

○ 振り返りシートの「怒りのコントロールの仕方が分かりましたか」の質問に対して「分かった」と「だいたい分かった」と回答した児童の合計が100%だったことから、自分に合う怒りへの対処法について考える時間になったと考えます(資料2)。



資料2 怒りへの対処法の理解についてのアンケート結果(振り返りシートより)

○ 怒りへの対処法として「深呼吸」「カウントアップ」「怒りをおさえる言葉」を紹介しました。この3つの方法の中から自分に合った怒りへの対処法を見つけた児童もいました(資料3)。

○ 怒りのコントロールの仕方の学習をしたことで、これからの生活に学習したことを生かしていこうと考える児童が見られました(資料3)。

○ 自分なりの怒りのコントロールの仕方をもっている児童も複数おり、紹介し合う場面を設定することは効果があると考えます(資料3)。

◇ 紹介した怒りへの対処法を体験する際に、児童は怒りの温度が高い場面を想像することが難しかったようでした。そこで、怒りの温度が高い場面を想像せずに、「深呼吸」「カウントアップ」「怒りをおさえる言葉」の3つの方法を体験するように展開案を修正しました。

◇ 「怒りの温度計が100℃にならないためにはどんな方法がありますか」という発問に対して、児童から意見が出ない場合を考慮して、怒りへの対処法についての実態調査の結果を紹介するように展開案を修正しました。

「前にあったコントロールの仕方がみづかなくて、
「フ」怒ったりしてもこの、コントロールを「戻す」
ので安心しました。

コントロールの仕方が3つもあったから、これからつかおうと思った。

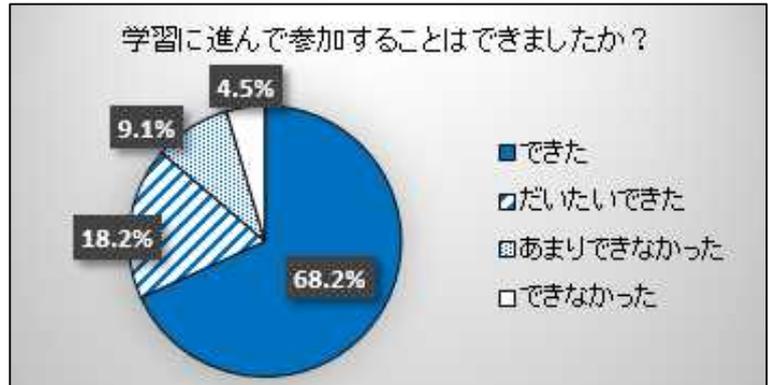
この3つのコントロールの仕方があって、もしも自分に
 いかりがあったら、「戻す」と思えました。
自分にあったコントロールの仕方が「みづかなくて、
よかったです。

上の3つの方法もあるけど、やっぱり、自分が
持っている方法が一番よかった。(心を無にする)

資料3 怒りへの対処法を体験した児童の感想(ワークシートより)

視点Ⅱ 次時につながる内容であったか

- 振り返りシートの「学習に進んで参加することはできましたか」の質問に対して「できた」と「だいたいできた」と答えた児童の合計は86.4%でした。授業全体を通して児童は意欲的に活動に参加し、怒りの仕組みの理解を深め、自分なりの怒りへの対処法を考えることができたと考えます(資料4)。
- 児童は、前時に学習した怒りの感じ方と同様に、怒りの仕組みや怒りへの対処法も人によって異なることに気付いていました。また、自分に合った怒りへの対処法を見付けることができた児童も多く見られました(資料5)。
- 怒りの仕組みや怒りへの対処法を学習したことで自己理解が深まり、次時のトラブル未然防止のスキルについての学習につながると考えます。



資料4 学習への参加状況(振り返りシートより)

「怒りにつきあっていく方法や、コントロール
の仕方が分かって良かったです。

怒りのコントロールの方法や、怒りの静まり
方は人によってちがうと分かりました。

いかりのふうせんは、だんだん大きくなっていて、はくはつする
 ことが分かりました。わたしには、カウントアップが合っていました。

わたしにあった方法(本のことを考える)
を見つけられてよかったです。

資料5 学習に対する児童の感想(振り返りシートより)